



ユーザーズマニュアル

2025/03 (v2.3)

ドライブレコーダー DrivePro 110



目次

- 1. パッケージ内容
- 2. 使用前の準備
 - 2-1 各部名称
 - 2-2 microSDカードの取り付け
 - 2-3 DriveProの取り付け
 - 2-4 電源への接続
 - 2-5 機能ボタン
 - 2-6 LED表示
 - 2-7 日時&タイムゾーンの設定
- 3. 録画
 - 3-1 録画時の画面表示
 - 3-2 緊急録画
- 4. 写真ファイルの表示と録画ファイルの再生
 - 4-1 録画再生/スナップショット表示
 - 4-2 録画ファイルの削除
 - 4-3 録画ファイルの保護
- 5. 設定
 - 5-1 メニュー項目
 - 5-2 ファームウェアの更新
- 6. DrivePro Toolboxソフトウェア
- 7. PCへのファイル転送
- 8. トラブルシューティング
- 9. 安全のための使用上の注意
- 10. 仕様
- 11. リサイクルと環境への配慮
- 12. EU Compliance Statement
- 13. Federal Communications Commission (FCC) Statement
- 14. 保証規定
- 15. オープンソースソフトウェアの開示
- 16. ソフトウェア利用許諾契約(EULA)
- 17. Eurasian Conformity Mark (EAC)

1. パッケージ内容

DrivePro 110ドライブレコーダーのパッケージには以下が同梱されています。

DrivePro 110ドライブレコーダー



取付ブラケット(吸盤固定)



カーアダプタ



microSDカード



Quick Start Guide (クイック操作ガイド)



2. 使用前の準備

2-1 各部名称



2-2 microSDカードの取り付け

録画をする前にmicroSDカードをDriveProに挿入してください。

1. microSDカードはDriveProの側面のカードスロットに正しく挿し込んでください。



⚠ "注意"

- DriveProで新しいmicroSDカードを使用する場合はフォーマットを行ってください。録画中に設定ボタンを押し、Format Card (カードフォーマット)を選択してフォーマットします。
- フォーマットを実施するとmicroSDカードに保存されているデータは全て消去されます。
- DrivePro 110が対応しているファイルシステムはFAT32です。exFATとNTFSには対応していません。

2. microSDカードを押すとカードスロットから排出され、取り出すことができます。

⚠ "注意"

録画データの損傷や消失を防ぐために、シャットダウン中にmicroSDカードを取り出さないでください。

- より良い録画のために、トランセンドの高耐久microSDカードやMLC NANDフラッシュを採用しているメモ리카ードの利用を推奨しています。
 - [高耐久microSDHCカード](#)
 - [高耐久microSDXC 350Vカード](#)
- メモ리카ードの容量別の録音時間の目安については、[ウェブサイトのよくある質問](#)を確認ください。

2-3 DriveProの取り付け

1. 取り付けブラケットをDrivePro上部に差し込みカチッと音がするまでスライドさせて固定します。



2. DriveProを取り付ける位置を決めてフロントガラスを清掃します。できるだけバックミラー周辺にDriveProを取り付けることをお勧めします。
3. 吸盤ブラケットの場合はブラケットのレバーを押し倒し、粘着シールブラケットの場合は保護フィルムを剥がし、DriveProをフロントガラスにしっかりと取り付けて固定します。
4. 調節ノブを反時計回りに回すと緩みますのでDriveProの位置を調節してください。



5. DriveProの位置が決まったら、調節ノブを時計回りに回して固定します。その場所にDriveProがしっかりと安全に固定されていることをご確認ください。



2-4 電源への接続

1. カーアダプタのマイクロUSB端子をDriveProのUSBポートに接続します。



2. カーアダプタのもう一方の端子の出力プラグを車のシガーソケットに接続します。



3. 車のエンジンをかけると、DrivePro は自動的に起動して録画を開始します。
4. エンジンを停止すると、DriveProは自動的に録画中のデータを保存して電源オフとなります。

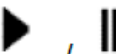


"注記"

- DriveProをシガーソケットに接続する前にmicroSDカードをmicroSDカードスロットに挿入してください。
- 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。

2-5 機能ボタン



モード	A	B	C	D
録画	 電源/Wi-Fi	 ファイル閲覧	 設定	 スナップ ショット
ブラウズ/設定	 戻る*	 上	 下	 OK OK
ビデオ再生	 戻る*	 再生/一時停止	 保護/保護解除	 削除
フォト表示	 戻る*	 上	 下	 削除

1. 電源ボタン  を3秒間長押しすると、手動でDriveProを電源オン/オフできます。
2. スナップショットボタン  を長押しすると設定メニューを開かずにボイスレコードの有効/無効を切り換えることができます。
3. 設定ボタン  を長押しすると設定メニューを開かずにタイムラプス動画の設定メニューにアクセスできます。

2-6 LED表示

LED表示	状態
点灯(赤)	スタンバイ
点滅(赤)	録画中

2-7 日時&タイムゾーンの設定

日時を設定します。

- 録画中に設定ボタン  を押します。
- ▲／▼ を操作してDate/Time Settings (日時設定)を選択し、OKを押します。

Date/Time

2024

/

12

/

31

13

:

30

:

59

↩

▲

▼

OK

- ▲／▼ を操作して値を調節し、OKを押すと次の入力フィールドに移動します。
- 上記の手順3を繰り返して日付と時刻を設定します。

3. 録画

3-1 録画時の画面表示



車のエンジンをかけると、DriveProは自動的に起動して録画を開始します。

デフォルトでは3分毎に録画ファイルを保存します。録画の長さは設定で変更できます。

エンジンを停止すると、DriveProは自動的に録画中のデータを保存して電源オフとなります。

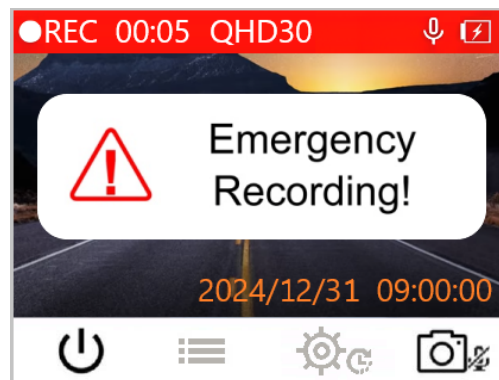
3-2 緊急録画

メモリ容量の30%が緊急録画ファイルの保存用に確保されています。緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされないように保護されます。



手動録画

録画中にDrivePro左側面部の緊急録画ボタンを押すと、手動で緊急録画モードに切り換えることができます。緊急録画を開始すると下図のように画面にメッセージが表示されます。



Gセンサー録画

録画中に DriveProが衝撃を感知すると自動的に緊急録画モードに切り換わります。

- Gセンサーの感度をHigh (高)に設定すると、わずかな衝撃も感知して緊急録画モード状態になります。
- Gセンサーの感度をLow (低)に設定すると、大きな衝撃のみ感知して緊急録画モード状態になります。

設定メニューでGセンサーの感度調節や有効/無効設定を行います。

"注記"

ループ録画機能はデフォルトでは有効に設定されています。緊急録画ファイルの保存領域に空きがなくなると、新しい緊急録画ファイルは最も古い緊急録画ファイルを上書きして保存されます。

バッテリー残量少

Low Battery (バッテリー残量少)のメッセージが表示されたら、システムの時間設定エラーが発生しないように、すぐにDriveProのバッテリー充電を行ってください。また、充電せずに内部バッテリーのみで動作させないでください。



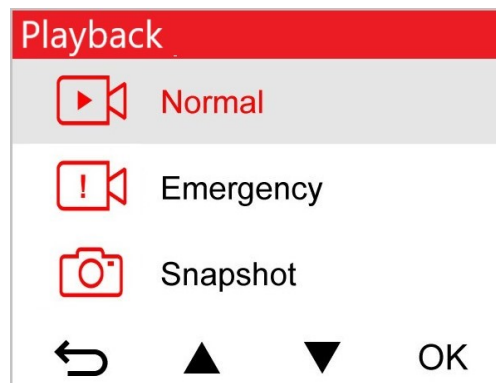
"注記"

購入直後はバッテリーが十分充電されていません。十分に充電してから使用を開始してください。

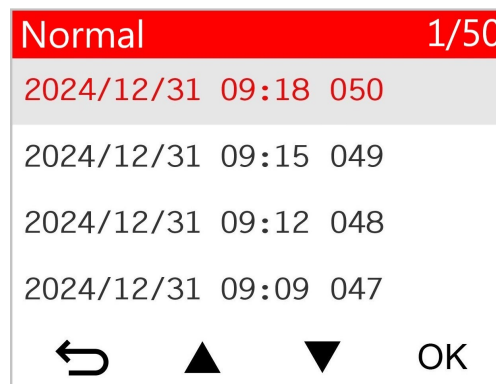
4. 写真ファイルの表示と録画ファイルの再生

4-1 録画再生/スナップショット表示

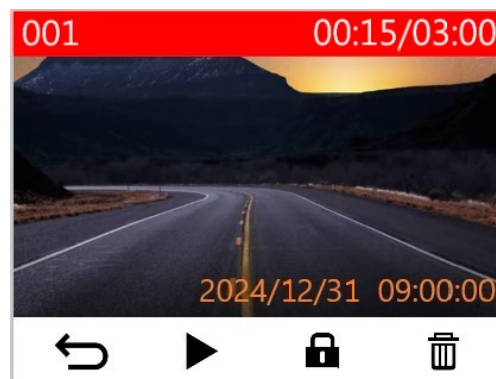
1. 録画中にファイル一覧ボタン  を押します。
2. ▲／▼ を操作してファイルの種類(Normal / Emergency / Snapshot)を選択し、OKを押します。



3. ▲／▼ を操作してファイルを選び、OKを押します。



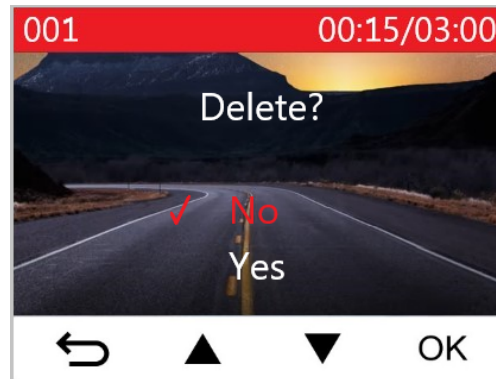
4. || を押すと再生が一時停止し、再度 ▶ を押すと再生を再開します。



5. ↶ を押すとファイル一覧に戻ります。

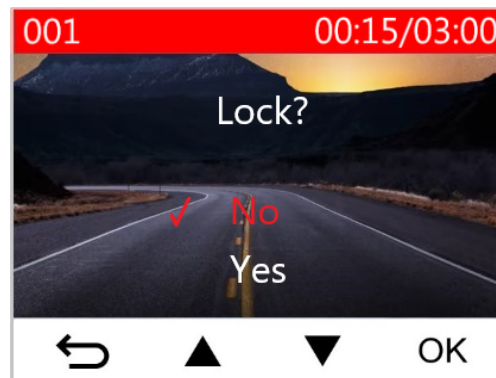
4-2 録画ファイルの削除

1. 録画ファイルの再生中に  を押すと、“Delete?”というメッセージが表示されます。
2. ▲／▼ を操作して Yesを選び、OKを押してファイルを削除します。



4-3 録画ファイルの保護

1. 録画ファイルの再生中に  を押すと、“Lock?”というメッセージが表示されます。
2. ▲／▼ を操作して Yesを選び、OKを押してファイルを保護します。



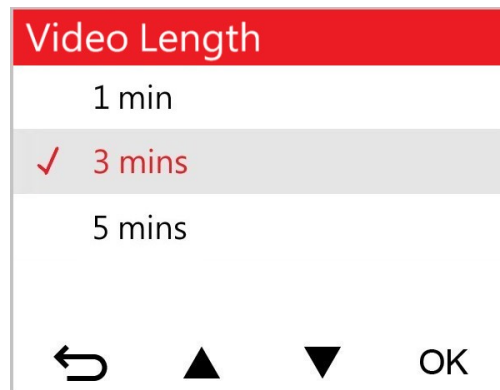
5. 設定

設定メニューでは録画解像度、録画時間、Gセンサー感度を調節できます。また、日時設定、表示言語変更、の変更、メモ리카ードのフォーマット、ファームウェアの更新も設定から実行できます。

1. 録画中に設定ボタン  を押します。
2. ▲／▼ を操作して設定を行うメニュー項目を選び、OKを押します。



3. ▲／▼ を操作して設定値を選び、OKを押して設定します。



4.  を押すと設定メニューに戻ります。

5-1 メニュー項目

ドライブレコーダー		
アイコン	項目	機能 / オプション
	解像度	解像度の設定 🔔 注記: モデルによって表示されるオプションが異なる場合があります。
		1440P 30fps / 1080P 60fps / 1080P 30fps / 720P 60fps / 720P 30fps
	画面の明るさ	明るさの調節
		+2.0 / +1.5 / +1.0 / +0.5 / 0.0 (デフォルト) / -0.5 / -1.0 / -1.5 / -2.0
	ボイスレコード	録画中のマイクのオン/オフ
		無効 / 有効 (デフォルト)
	動画の長さ	録画ファイルの録画時間を設定
		1分 / 3分(デフォルト) / 5分
	タイムスタンプ	録画中のファイルに現在時刻の表示設定
		無効 / 有効(デフォルト)
	ループ録画	microSD カードの空き容量が無くなると古いファイルを削除して新しいファイルを保存
		無効 / 有効(デフォルト)
	LED信号機設定	信号の点滅を軽減するための適度な周波数を設定
		50Hz (デフォルト) / 60Hz 東日本は50Hz、西日本は60Hzに設定します。
	タイムラプス動画	タイムラプス動画の時間間隔を設定 この設定は手動でのみ有効にすることができ、通常録画モードから切り替わります。



注記: 車のバッテリーを使い果たしてしまわないように、DrivePro はタイムラプスモードで連続 48 時間録画した場合、自動的に電源オフとなります。

無効(デフォルト) / 1秒/ショット / 2秒/ショット / 4秒/ショット

運転支援

アイコン	項目	機能 / オプション
	ヘッドライト・リマインダー	DriveProが低光量を感知した場合に表示するメッセージの設定
		無効(デフォルト) / 有効
	長時間運転アラート	運転者に休憩を促すメッセージを表示させる時間を設定
		無効(デフォルト) / 1時間 / 2時間 / 3時間 / 4時間

システム

アイコン	項目	機能 / オプション
	音量	スピーカーの音量調節
		0~7 (0: 消音モード)
	Gセンサー	Gセンサーの感度を調節
		無効 / 低(デフォルト) / 中 / 高
	電源オフ	電源をオフにするタイミングを設定
		無効 / 10秒(デフォルト) / 30秒
	本体画面の消灯	録画開始後に画面表示を自動消灯する時間を設定
		 注記: 注記: ヘッドライト・リマインダー、長時間運転アラートが有効になっている場合、この設定は無効になります。
	本体画面の消灯	無効(デフォルト) / 1分後 / 3分後
	日付/時刻	日時やタイムゾーンを設定
	言語	表示言語を設定

		English／繁體中文／简体中文／日本語／Deutsch／Español／Français／Italiano／Русский／Português／Ελληνικά／Türkçe／한국어／ไทย
	カード フォーマット	microSDカードのフォーマット ⚠ 注意: フォーマットを実行するとカード内のすべてのデータは削除されます。
		キャンセル(デフォルト) / 確認
	ファーム ウェア更新	ファームウェアを最新バージョンに更新 🔔 注記: - データ損失によるトラブルを防止するために、ファームウェアを更新する前にデータをバックアップすることを推奨しています。 トランセンドのウェブサイトより、最新バージョンのファームウェアをダウンロードしてください。
		キャンセル(デフォルト) / 確認
	設定の初期 化	全ての設定を製品出荷時と同じ状態にリセット
		キャンセル / 確認
	画面の位置	録画画面の位置を調整
	情報	DriveProのファームウェアバージョン、カード容量、モデル名を表示

5-2 ファームウェアの更新

1. トランセンドのウェブサイトからファームウェアをダウンロード後、解凍してからmicroSDカードの“SYSTEM”フォルダに保存します。

<https://jp.transcend-info.com/support/service>

Name	Date modified
 DP110	3/30/2023 3:39 PM
 SYSTEM	3/30/2023 3:38 PM

2. 最新バージョンのファームウェアを保存したmicroSDカードをDriveProに挿入します。
3. 設定項目からFirmware Upgrade (ファームウェア更新)を選び、OKを押すとDriveProがファームウェアのデータにアクセスし、自動的にファームウェア更新を行います。



"注記"

ファームウェアの更新には約1-2分かかります。更新中はDriveProの電源をオフしないようにしてください。更新が完了すると、DriveProは自動的に再起動します。



"注意"

ファームウェアのアップデート中は電源供給を妨げたり、microSDカードを取り外したりしないでください。

ファームウェアのアップデートに失敗してDriveProが起動しなくなった場合はトランセンドの販売代理店またはカスタマーサポートまでお問い合わせください。

6. DrivePro Toolboxソフトウェア

DrivePro ToolboxはWindowsとmacOS用のソフトウェアで、コーデックのインストール不要でDriveProで記録した録画ファイルを再生できます。

DriveProをコンピュータに接続し、DrivePro Toolboxを使用するために必要な環境

- 使用可能なUSBポートが搭載されているデスクトップかノートPC
 - Microsoft Windows 10以降
 - macOS 10.12以降

1. [インストールファイル](#)をダウンロードします。
2. DrivePro ToolboxソフトウェアをPCにインストールします。

機能	
 ソート	動画ファイルを名前や録画日付、グループで並べ替え
 再生	DriveProまたは動画を記録したmicroSDカードを取り付けたカードリーダーやアダプタをPCに接続するだけで動画を再生
 編集	選択した動画をトリムし、新しいクリップとして保存したり、再生中にスナップショット撮影が可能
 走行経路	再生中に走行経路を地図に表示 🔔 注記: GPS受信機を備えたDrive Pro (DrivePro 550, DrivePro 520, DrivePro 250, Drive Pro 230, DrivePro 220)のみに対応
 ナンバープレート検出	映像内のナンバープレートを自動認識し、ビデオクリップを抽出 🔔 注記: Windows 64ビット版のみ対応
 動画の結合とエクスポート	フロントカメラとリアカメラで録画した動画を同時に再生したり、再生用に結合してエクスポートすることができます。 🔔 注記: デュアルカメラモデルのDrivePro (DP550/DP520)のみに対応しています。

7. PCへのファイル転送

microSDカードをDriveProから取り出し、カードリーダーを使用してデータをPCに転送します。

8. トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでもFAQとサポート情報を公開しております。ハードウェアに関する事はDriveProユーザーマニュアルを参照ください。

- DriveProをボタン操作できません
 - DriveProからカーアダプタを外し、再度接続してください。
- DriveProがメモリカードの録画ファイルを読み出せません
 - 編集等した動画はDriveProで再生できない場合があります。
- 緊急録画ボタンを押しても何も起こりません
 - 緊急録画ができるのはDriveProが録画中のときだけです。

9. 安全のための使用上の注意

ガイドラインに沿った正しい使用をすることによって、より使用者の安全確保とDrivePro自体の損傷を避けることができますので、安全のための使用ガイドライン順守はとても重要です。

- 通常の使用
 - 車両にのみ使用してください。
 - 走行中、運転者はDriveProの操作や画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は必ず安全な場所に停車してから操作してください。
 - 走行中に緊急録画ボタンを押すなどの操作をしないでください。
 - DriveProは連続で映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
 - DriveProは事故の証拠として効力を保証するものではありません。

- DriveProの故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害について弊社は一切責任を負いません。
- DriveProによって録画した映像は使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- DriveProの動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対にしないでください。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。その場合、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。
- DriveProを非常に高温または低温な環境下で使用しないでください。また、直射日光が当たる場所、暖房機器の近く、湿度やほこりの多いところに保管しないようにしてください。
- 水や他の液体がDriveProにかからないようにしてください。
- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本体内に結露が生じることがあります。故障や発熱の原因となりますので、そのまま使用し続けしないでください。
- カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布で軽く拭いてください。
- 塗装面を傷めるため、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- DriveProは精密機械ですので、静電気や電氣的ノイズ等によりデータ破損/消失が発生することがあります。その場合は作動しません。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 感電や故障の原因となりますので本体及び同梱品を分解等しないでください。
- 強い磁場や振動がある場所でDriveProを使用しないでください。
- 別のカーアダプタを使用した場合、動作の保証ができませんので必ず付属の専用カーアダプタを使用してください。
- 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。
- 事故発生時は録画データが上書きされないようにmicroSDカードを保管してください。
- 液晶パネルの表示部を強く押したり、先の尖ったもので扱わないでください。
- サングラス等を通して液晶パネルを見ると偏光特性により表示が見えなくなることがあります。
- 周囲の温度が高くなると液晶パネルの表示部が黒くなる場合がありますが、ディスプレイの特性であり、故障ではありません。
- 液晶パネルは精密度の高い技術で製造されており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があることをご了承ください。
- microSDカードの挿抜時は本体に電源供給がされていないことを確認してください。
- microSDカードは必ずDriveProでフォーマットしてください。

- ワイドアングルレンズを使用しているため、映像にゆがみや影が生じることがあります。これはレンズの特性によるもので故障ではありません。

• 取付け位置

- DriveProはドライバの視界を遮ったり、エアバッグの作動を妨害しない位置に取り付けてください。また、脱落/落下による怪我や事故等を防ぐためにしっかりと取り付け、カーアダプタも確実に接続してください。
- 悪天候時にも鮮明な映像が撮影できるように、DriveProはフロントガラスのワイパー可動域に取り付けてください。
- 接触不良による火災を防ぐためにシガーソケットやカーアダプタの汚れはよく拭いてください。
- コードを傷つけないよう、無理に曲げたりしないでください。また、カーアダプタを抜くときはコードを引っ張らないようにしてください。
- テレビアンテナの近くで使用すると受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ⚠ 注意: 着色フィルムにダメージを与える恐れがありますので、着色ガラスの窓やフィルムが貼られている窓にDriveProを取り付けしないでください。

• データのバックアップ

- トランセンドはデータの損失や損傷には一切の責任を負いません。
定期的にコンピュータやストレージメディアにDrivePro のバックアップをとることをお勧めします。
- microSDカードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長時間使用による不良セクタの発生等が原因で正常に記録できなかつたり、カードエラーで使用できなくなることがあります。
- microSDカードの消耗に起因する故障等について弊社は一切の責任を負いません。
- カードリーダーは使用するmicroSDカードに対応したものを使用してください。

"注意"

極端な温度環境は、充電式バッテリーの液漏れを引き起こす要因となります。以下のような現象を防ぐために、安定した温度環境下で適切に使用ください。

- 過熱
- 火災
- 爆発
- 発煙

10. 仕様



DrivePro 110		
	2023/03以前生産モデル	2023/04以降生産モデル
サイズ	70.2 mm (L) × 63.1 mm (W)× 32.5 mm (H)	
重量	71 g	69 g
接続インターフェース	USB 2.0	
対応メモリカード	ウェブサイトの製品仕様を参照ください。	
パネル	2.4インチのカラー液晶	
レンズ	F/2.0, 140°ワイドアングル	
解像度 / フレームレート	フルHD 1920 x 1080P 60/30fps HD 1280 x 720P 60/30fps	2K QHD 2560 x 1440P 30fps フルHD 1920 x 1080P 60/30fps HD 1280 x 720P 60/30fps
動画フォーマット	H.264 (MOV: 最大1920 x 1080 60fps)	H.264 (MP4: 最大2560 x 1440 30fps)
操作ボタン	機能ボタン*4 緊急録画ボタン*1	

DrivePro 110		
	2023/03以前生産モデル	2023/04以降生産モデル
	リセットボタン*1	
動作環境温度	-20℃ ~ 65℃	
電源供給 (カーアダプタ)	入力: DC 12V~24V 出力: DC 5V / 1A	入力: DC 12V~24V 出力: DC 5V / 2A
認証	CE / UKCA / FCC / BSMI / KC / EAC / RCM	
保証期間	2年	
注記	付属のmicroSDカード以外のメモリカードを使用する場合は、トランセンドの高耐久microSDカードやMLC NANDフラッシュを採用しているメモリカードをご利用ください。 • 高耐久microSDHCカード • 高耐久microSDXC 350Vカード	

11. リサイクルと環境への配慮

製品のリサイクル(WEEE)とバッテリーの廃棄についてはウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/about/green>

12. EU Compliance Statement

Transcend Information hereby declares that all CE marked Transcend products incorporating radio equipment functionality are in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

https://www.transcend-info.com/eu_compliance



13. Federal Communications Commission (FCC) Statement

This device complies with Part 15 FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference. (2) This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This Equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.

- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

14. 保証規定

本製品の保証期間は製品パッケージで確認できます。詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/warranty>

15. オープンソースソフトウェアの開示

詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/Legal/?no=10>

16. ソフトウェア利用許諾契約(EULA)

詳細はウェブサイトを参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/legal/gpl-disclosure-eula>

17. Eurasian Conformity Mark (EAC)

